



SUPER  
FORMULA

PRESS INFORMATION



2014年11月9日  
株式会社日本レースプロモーション

## 2014年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第7戦

11月9日（日）第13回JAF鈴鹿グランプリ決勝結果速報

レース1はジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ、レース2は中嶋一貴が優勝！

年間タイトルドライバー部門は中嶋一貴、チーム部門はペトロナス・チーム・トムスに決定！

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ第7戦（最終戦）JAF鈴鹿グランプリ大会が、11月9日（日）三重県 鈴鹿サーキット国際レーシングコース（1周5, 807m）で開催された。

決勝レース1は、ウェットレースのスターティンググリッドで伊沢拓也（ドラゴ コルセ）がエンジントール。赤旗が降られリスタートとなる。そのためレース周回数は1周減算となり鈴鹿サーキット国際レーシングコース（1周5, 807m）を19周、トータル110.333kmで争われた。優勝は好スタートでトップに立ったジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ（レノボ チーム インパル）が、そのまま走り切りチェッカーフラッグを受け、39分41秒541（平均時速：166.78km/h）のタイムで優勝した。2位には中嶋一貴（ペトロナス・チーム・トムス）が39分45秒387で続き、3位はアンドレ・ロッター（ペトロナス・チーム・トムス）39分47秒118だった。その結果注目のシリーズタイトル争いは決勝レース2に持越された。

決勝レース2は28周、トータル162.596kmで争われた。ポールポジションから好スタートを切った中嶋一貴（ペトロナス・チーム・トムス）がトップに立ち、54分37秒300（平均時速：178.61km/h）のタイムで見事なポールツーウィンを決めた。2位にはアンドレ・ロッター（ペトロナス・チーム・トムス）が54分46秒131で続き、3位はロイック・デュバル（キグナス スノコ チーム ルマン）54分46秒709だった。

同時に注目の年間タイトルは、ドライバー部門は中嶋一貴が、チーム部門はペトロナス・チーム・トムスに決定した。

※記録の詳細は、別添付公式通知「RACE1、RACE2正式結果表」をご参照ください。



レース2を制し、年間タイトルドライバー部門のチャンピオンを獲得した中嶋一貴（ペトロナス・チーム・トムス）

Series Partner

**HONDA TOYOTA**

Series Supporter

**BRIDGESTONE**

Promotion Partner

HITACHI **J SPORTS** スカパーJSAT セディナ DNP 大日本印刷 **人脈酒造**

NO.	ドライバー 生年月日 国籍 (出身地)	エントラント名 監督名	車両名 (エンジン)
1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto 1988. 7. 11 日本 (栃木県)	TEAM 無限 (チーム無限) 手塚 長孝	TEAM 無限 SF14 (Honda HR-414E)
2	中山 友貴 Yuhki Nakayama 1987. 7. 29 日本 (石川県)		
3	ジェームス・ロシター James Rossiter 1983. 8. 25 イギリス	KONDO RACING (コンドーレーシング) 近藤 真彦	フジ・コーポレーション KONDO SF14 (TOYOTA R14A)
7	平川 亮 Ryo Hirakawa 1994. 3. 7 日本 (広島県)	KYGNUS SUNOCO Team LeMans (キグナス スノコ チームルマン) 土沼 広芳	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 (TOYOTA R14A)
8	ロイク・デュバル Loic Duval 1982. 6. 12 フランス		Team KYGNUS SUNOCO SF14 (TOYOTA R14A)
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi 1986. 11. 20 日本 (栃木県)	HP REAL RACING (エイチピー リアルレーシング) 金石 勝智	HP SF14 (Honda HR-414E)
11	ヴィタントニオ・リウッツィ Vitantonio Liuzzi 1981. 8. 6 イタリア		
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama 1991. 7. 25 日本 (東京都)	KCMG (ケーシー エム ジー) 土居 隆二	KCMG Elyse SF14 (TOYOTA R14A)
19	ジョアオ・バオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira 1981. 7. 13 ブラジル	Lenovo TEAM IMPUL (レノボ チーム インパル) 星野 一義	Lenovo TEAM IMPUL SF14 (TOYOTA R14A)
20	クマール・ラム・ナレイン・カーティケヤン Kumar Ram Narain Karthikeyan 1977. 1. 14 インド		
31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima 1989. 1. 29 日本 (愛知県)	NAKAJIMA RACING (ナカジマレーシング) 中嶋 悟	NAKAJIMA RACING SF14 (Honda HR-414E)
32	小暮 卓史 Takashi Kogure 1980. 8. 1 日本 (群馬県)		
34	伊沢 拓也 Takuya Izawa 1984. 6. 1 日本 (東京都)	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ) 道上 龍	DRAGO CORSE SF14 (Honda HR-414E)

NO.	ドライバー 生年月日 国籍 (出身地)	エントラント名 監督名	車両名 (エンジン)
36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer 1981. 11. 19 ドイツ	PETRONAS TEAM TOM'S (ペトロナス・チーム・トムス) 舘 信秀	PETRONAS TOM'S SF14 (TOYOTA R14A)
37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima 1985. 1. 11 日本 (愛知県)		
38	石浦 宏明 Hiroaki Iishiura 1981. 4. 23 日本 (東京都)	PMU/CERUMO/INGING (プロミュ-セルモ・インギング) 立川 祐路	P.MU/CERUMO/INGING SF14 (TOYOTA R14A)
39	国本 雄資 Yuji Kunimoto 1990. 9. 12 日本 (神奈川県)		
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri 1989. 9. 15 日本 (茨城県)	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ チーム ダンディライアン レーシング) 村岡 潔	DOCOMO DANDELION M40T SF14 (Honda HR-414E)
41	武藤 英紀 Hideki Mutoh 1982. 10. 6 日本 (東京都)		
62	嵯峨 宏紀 Koki Saga 1983. 4. 25 日本 (愛知県)	TOCHIGI Le Beausset Motorsports (とちぎ・ル・ポーセ モータースポーツ) 坪松 唯夫	DENSO Le Beausset SF14 (TOYOTA R14A)

## 2014年シリーズ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	P. P.
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

\*P. P. : ポールポジション (予選1位) には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

\*最終戦 (第7戦) 鈴鹿大会に限り、レース1、レース2の勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

\*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム (エントラント) が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

—ご参考—

### 1. スーパーフォーミュラ

全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レース。一般社団法人日本自動車連盟（JAF）が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートによりフォーミュラ・ニッポンとして1996年にスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更した。

### 2. シリーズ賞典

シリーズ賞典は、年間チャンピオン ドライバーには、株式会社日本レースプロモーションより、賞金とシリーズ ドライバーズチャンピオンカップが授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付される。また年間チャンピオンチームには、経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与される。

### 3. レース車両 (SF14)

今シーズンより新型車両 (SF14) を導入。シャシーはダラーラ・オートモビル社 (イタリア) 製でタイヤはブリヂストンのワンメイク。新開発エンジンは排気量2リッター、直列4気筒直噴ターボ過給エンジンでHonda HR-414EまたはTOYOTA R14Aを使用する。

### 4. オーバーテイクシステム (OTS)

燃料リストラクターシステム (燃料流量規制システム) を活用し、約20秒間燃料供給量を上げて約5%エンジン出力をアップさせ、オーバーテイクを補助するシステム。ステアリングにあるボタンで操作し、本大会では決勝レース中5回まで使用できる。使用中はドライバーのヘルメットの後方にあるランプが点滅し、観客からも視認できる。またポイントリーダードライバーは、赤色のオーバーテイクランプ (リーダーズレッド) を装着している。OTSはスーパーフォーミュラ独特の仕組み。

### 5. 公式予選 (ノックアウト方式)

土曜日に行われる予選はノックアウト方式で行われ、Q1、Q2、Q3と、計3回の予選が行われる。本大会のように20台エントリーの場合にはQ1 (20分間) で15位から20位のスタート位置を決定。10分間のインターバルの後、Q2 (7分間) を行い9位から14位のスタート位置を決定する。さらに10分間のインターバルの後Q3 (7分間) を行い、1~8位までの決勝レーススタート位置を決定する。文字通りの好タイムが出なければ脱落することから、ノックアウト方式 (勝ち抜き戦) と呼ばれる。

## 2014年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4/ 12~13	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250km
5/ 17~18	第2戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	2レース制
7/ 12~13	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250km
8/ 23~24	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250km
9/ 13~14	第5戦/オートポリス	ノックアウト	220km
9/ 27~28	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250km
11/ 8~ 9	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2レース制

### 大会概要

- 大会名称：2014年 全日本選手権スーパーフォーミュラ第7戦 第13回JAF鈴鹿グランプリ
- 開催日：2014年11月8日(土)～9日(日)
  - 予選スタート 11/8(土) 13:30～
  - レース1決勝スタート11/9(日) 10:10～(20周)
  - レース2決勝スタート11/9(日) 15:00～(28周)
- 開催地：鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)
  - レース1決勝レース距離：5.807km/1周×20周=116.140km
  - レース2決勝レース距離：5.807km/1周×28周=162.596km
- 主催：名古屋レーシングクラブ(NRC)/鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC) 株式会社モビリティランド
- 公認：国際自動車連盟(FIA)/社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定：株式会社日本レースプロモーション(JRP)
- 後援：経済産業省/観光庁/三重県/鈴鹿市/鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会 社団法人鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所/東京中日スポーツ/中日スポーツ/中日新聞社

### チケット購入/お問い合わせ

- 前売観戦券(2日間有効)\*11月7日(金)も入場可
    - 大人 ￥4,000(ゆうえんちモートピアパスポート1日付)
    - 中・高校生 ￥1,700(入場のみ)
- \*観戦情報、チケットなどの詳細は、鈴鹿サーキットホームページ(<http://www.suzukacircuit.jp/>)をご参照ください。

### TV放映

- {お願い} 放送日、放送時間は予告なく変更される場合がありますので、SF公式ホームページ(<http://www.superformulanet/>)でご確認ください。
- 「J SPORTS」：全戦決勝レースをライブ中継。また決勝レースのリポート放送やレースダイジェスト番組も放送。
    - ・11月8日(土) 13:00～15:00 全日本選手権スーパーフォーミュラ第7戦 予選(生中継) Ch: J SPORTS 3
    - ・11月9日(日) 10:00～12:00 全日本選手権スーパーフォーミュラ第7戦 決勝レース1(生中継) Ch: J SPORTS 3
    - ・11月9日(日) 14:30～18:00 全日本選手権スーパーフォーミュラ第7戦 決勝レース2(生中継) Ch: J SPORTS 3
  - \*リポート放送、レースダイジェスト番組は、スーパーフォーミュラオフィシャルウェブ(<http://www.superformulanet/>)またはJ SPORTSホームページ(<http://www.jsports.co.jp/>)にてご確認ください。
  - 「BSフジ」：大会ごとに55分間の「スーパーフォーミュラ」特集を放送。
    - ・11月16日(日) 17:00～17:55(本放送)
    - ・11月22日(土) 16:00～16:55(再放送)
  - フジテレビONE/TWO/NEXT 「スーパーフォーミュラTV」
    - ・11月14日(金) 22:30～23:00 第7戦・鈴鹿大会/ハイライト(NEXT)
    - \*リポート放送の放送日、放送時間はフジテレビオフィシャルウェブ(<http://www.fujitv.co.jp/>)にてご確認ください。
  - YAHOO! GyaO!
    - \*大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンド(<http://gya.yahoo.co.jp/>)で放送。

この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション(<http://www.superformulanet/>)

102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル

e-mail: [media@superformulanet](mailto:media@superformulanet)

Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135

Japanese Championship  
**SUPER FORMULA**  
 Series Ranking 2014

第7戦終了時点

ドライバーズ・ポイントランキング

Po.	No.	Driver	Points	Gap	4/13	5/18	7/13	8/24	9/14	9/28	11/9		
					SUZUKA Rd.1	FUJI Rd.2-1	FUJI Rd.2-2	FUJI Rd.3	MOTEGI Rd.4	AUTOPOLIS Rd.5	SUGO Rd.6	SUZUKA Rd.7-1	SUZUKA Rd.7-2
1	37	中嶋一貴	46		3	4	3	10	2	3	8	4	9
2	19	J.P.デ・オリベイラ	39.5	-6.5	2	6	4	0	11	6	0	8	2.5
3	36	A.ロッテラー	34.5	-11.5	5	2.5	6	3	—	10	0	4	4
4	8	ロイック・デュバル	29.5	-16.5	10	3	2.5	—	5	0	6	0	3
5	38	石浦宏明	26	-20	6	0	0	5	8	1	3	2	1
6	3	J.ロスター	22	-24	8	1.5	0	1	1	4	5	1.5	0
7	39	国本雄資	19.5	-26.5	0	2	1	6	0	8	0	2.5	0
8	7	平川亮	16.5	-29.5	5	0	0.5	8	0	0	1	0	2
9	1	山本尚貴	14.5	-31.5	0	0	2	4	0	3	3	1	1.5
10	40	野尻智紀	10	-36	0	0	0	0	0	0	10	0	0
11	10	塚越広大	8.5	-37.5	0	0	0	0	3	5	0	0.5	0
12	8,36	A.カルダレッツィ	7	-39	—	—	—	1	6	—	—	—	—
13	20	N.カーティケヤン	5	-41	0	1	1.5	2	0	0	0	0	0.5
14	41	武藤英紀	4	-42	0	0	0	0	4	0	0	0	0
15	31	中嶋大祐	4	-42	0	0	0	0	0	0	4	0	0
16	11	V.リウツツイ	1.5	-44.5	1	0.5	0	0	0	0	0	0	0
17	34	伊沢拓也	0	-46	—	—	—	—	—	—	0	0	0
18	32	小暮卓史	0	-46	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	2	中山友貴	0	-46	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	18	中山雄一	0	-46	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	62	嵯峨宏紀	0	-46	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※太字は優勝、下線はP.P.

全戦が有効

チーム・ポイントランキング

Po.	No.	Team	Points	Gap	4/13	5/18	7/13	8/24	9/14	9/28	11/9		
					SUZUKA Rd.1	FUJI Rd.2-1	FUJI Rd.2-2	FUJI Rd.3	MOTEGI Rd.4	AUTOPOLIS Rd.5	SUGO Rd.6	SUZUKA Rd.7-1	SUZUKA Rd.7-2
1	36,37	PETRONAS TEAM TOM'S	79.5		7	6.5	8	13	8	13	8	7	9
2	7,8	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	46	-33.5	15	3	3	8	5	0	7	0	5
3	38,39	P.MU/CERUMO-INGING	45.5	-34	6	2	1	11	8	9	3	4.5	1
4	19,20	Lenovo TEAM IMPUL	39.5	-40	2	6	5.5	2	10	6	0	5	3
5	3	KONDO RACING	22	-57.5	8	1.5	0	1	1	4	5	1.5	0
6	40,41	DDCOMO TEAM DANDELION RACING	14	-65.5	0	0	0	0	4	0	10	0	0
7	1,2	TEAM 無限	12.5	-67	0	0	2	4	0	2	2	1	1.5
8	10,11	HP REAL RACING	10	-69.5	1	0.5	0	0	3	5	0	0.5	0
9	31,32	NAKAJIMA RACING	4	-75.5	0	0	0	0	0	4	0	0	0
10	34	DRAGO CORSA	0	-79.5	—	—	—	—	—	0	0	0	0
11	18	KCMG	0	-79.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	62	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	0	-79.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※太字は優勝、P.P.ポイントはドライバーズのみ

全戦が有効

※このランキング表は、SFウェブサイト制作班が計算した非公式なものです。

■選手権ポイント	Rd.	順位							
		1	2	3	4	5	6	7	8
予選	1-7	10	8	6	5	4	3	2	1
レース	2,7	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5
	7	3							

☆ドライバーズポイント

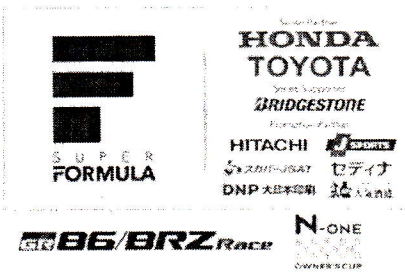
第7戦鈴鹿に限り、第1・第2レースの勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。

☆チームポイント

各チームに所属するドライバーの獲得ポイントを合計。  
 2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分を合計。  
 チームポイントには、ポールポジションのポイントは与えられない。

※複数のドライバーまたはチームが同ポイントの場合、1大会の高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。





11|8-9  
SAT SUN

第13回JAF鈴鹿グランプリ  
2014 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第7戦  
SUPER FORMULA

No. 11 2014-11-09 12:00  
WEATHER: Rain  
COURSE: Wet  
国際レーシングコース 5.807km

Race1 正式結果表

Pos.	No.	Driver	Type	Team	Laps	Total Time	Delay	Gap	Best
1	19	ジョアオ・パオロ・オリベイラ	TOYOTA R14A	Lenovo TEAM IMPUL	19	39'41.541	166.78km/h		1'55.837
2	37	中嶋 一貴	TOYOTA R14A	PETRONAS TEAM TOM'S	19	39'45.387	3.846	3.846	1'56.520
3	36	アントン・ロッチェ	TOYOTA R14A	PETRONAS TEAM TOM'S	19	39'47.118	5.577	1.731	1'56.416
4	39	国本 雄資	TOYOTA R14A	P.MU/CERUMO-INGING	19	39'55.652	14.111	8.534	1'56.835
5	38	石浦 宏明	TOYOTA R14A	P.MU/CERUMO-INGING	19	39'58.942	17.401	3.290	1'56.935
6	3	ジェームス・ロスター	TOYOTA R14A	KONDO RACING	19	40'02.239	20.698	3.297	1'56.915
7	1	山本 尚貴	Honda HR-414E	TEAM 無限	19	40'03.352	21.811	1.113	1'57.058
8	10	塚越 広大	Honda HR-414E	HP REAL RACING	19	40'04.501	22.960	1.149	1'57.275
9	31	中嶋 大祐	Honda HR-414E	NAKAJIMA RACING	19	40'05.564	24.023	1.063	1'57.533
10	20	ナレイン・カーティケヤン	TOYOTA R14A	Lenovo TEAM IMPUL	19	40'06.182	24.641	0.618	1'57.696
11	8	ロイク・デュバル	TOYOTA R14A	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	19	40'06.908	25.367	0.726	1'56.642
12	40	野尻 智紀	Honda HR-414E	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	19	40'07.981	26.440	1.073	1'57.019
13	41	武藤 英紀	Honda HR-414E	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	19	40'09.338	27.797	1.357	1'57.270
14	34	伊沢 拓也	Honda HR-414E	DRAGO CORSE	19	40'19.032	37.491	9.694	1'58.573
15	11	ガイタン・ニオリウツィ	Honda HR-414E	HP REAL RACING	19	40'20.636	39.095	1.604	1'57.655
16	7	平川 亮	TOYOTA R14A	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	19	40'22.305	40.764	1.669	1'56.614
以上 規定周回数完走:									
	2	中山 友貴	Honda HR-414E	TEAM 無限	14	30'14.657	5Laps	5Laps	1'57.716
	62	嵯峨 宏紀	TOYOTA R14A	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	14	30'18.619	5Laps	3.962	1'59.721
	32	小暮 卓史	Honda HR-414E	NAKAJIMA RACING	9	18'06.452	10Laps	5Laps	1'57.936
	18	中山 雄一	TOYOTA R14A	KCMG	9	18'12.684	10Laps	6.232	1'58.303

19周レースとした。(2014年全日本選手権スーパーフォーミュラ統一規則 第27条10. "START DELAYED")

開始時刻 : 10:25'11  
SC導入時刻 : 10:45'25  
SC解除時刻 : 10:53'16  
終了時刻 : 11:04'52

レース中のベストタイムは No. 19 ジョアオ・パオロ・オリベイラ Lenovo TEAM IMPUL 1'55.837 8/19 180.47km/h

規定周回数 17

ペナルティ  
No. 8 ドライビングスループナルティを課した。(2014年全日本選手権スーパーフォーミュラ統一規則 第27条7. (スタート)違反)

計時委員長 : Takashi KURIYAMA

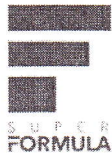
競技長 : Hiroshi MATSUMOTO

審査委員長 : Kazuo HIOKI

栗山隆史

松平 洋

日置和夫



HONDA  
TOYOTA  
BRIDGESTONE  
HITACHI  
DNP 大日本製薬



11|8-9  
SAT SUN

第13回JAF鈴鹿グランプリ  
2014 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第7戦  
SUPER FORMULA

No. 14

2014-11-09 16:45  
WEATHER: Rain  
COURSE: Wet

国際レーシングコース 5.807km

Race2 正式結果表

Pos.	No.	Driver	Type	Team	Laps	Total Time	Delay	Gap	Best
1	37	中嶋 一貴	TOYOTA RI4A	PETRONAS TEAM TOM'S	28	54'37.300	178.61km/h		1'55.937
2	36	アントレ・ロッチャー	TOYOTA RI4A	PETRONAS TEAM TOM'S	28	54'46.131	8.831	8.831	1'56.112
3	8	ロック・デュバル	TOYOTA RI4A	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	28	54'46.709	9.409	0.578	1'55.869
4	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ	TOYOTA RI4A	Lenovo TEAM IMPUL	28	54'48.119	10.819	1.410	1'56.110
5	7	平川 亮	TOYOTA RI4A	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	28	54'59.356	22.056	11.237	1'56.418
6	1	山本 尚貴	Honda HR-414E	TEAM 無限	28	55'11.504	34.204	12.148	1'57.229
7	38	石浦 宏明	TOYOTA RI4A	P.MU/CERUMO・INGING	28	55'15.540	38.240	4.036	1'56.829
8	20	レイン・カーティヤン	TOYOTA RI4A	Lenovo TEAM IMPUL	28	55'16.498	39.198	0.958	1'56.789
9	40	野尻 智紀	Honda HR-414E	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	28	55'16.956	39.656	0.458	1'56.761
10	3	ジェームス・ロスター	TOYOTA RI4A	KONDO RACING	28	55'20.065	42.765	3.109	1'57.329
11	11	ウイタントニオ・リウツィ	Honda HR-414E	HP REAL RACING	28	55'20.761	43.461	0.696	1'57.057
12	41	武藤 英紀	Honda HR-414E	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	28	55'28.877	51.577	8.116	1'56.591
13	10	塚越 広大	Honda HR-414E	HP REAL RACING	28	55'42.149	1'04.849	13.272	1'57.383
14	34	伊沢 拓也	Honda HR-414E	DRAGO CORSE	28	55'43.979	1'06.679	1.830	1'57.353
15	31	中嶋 大祐	Honda HR-414E	NAKAJIMA RACING	28	55'44.610	1'07.310	0.631	1'57.650
16	32	小暮 卓史	Honda HR-414E	NAKAJIMA RACING	28	55'45.946	1'08.646	1.336	1'57.521
17	2	中山 友貴	Honda HR-414E	TEAM 無限	28	55'47.075	1'09.775	1.129	1'57.473
18	18	中山 雄一	TOYOTA RI4A	KCMG	28	55'52.567	1'15.267	5.492	1'57.927
19	62	嵯峨 宏紀	TOYOTA RI4A	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	28	56'00.189	1'22.889	7.622	1'58.013
以上 規定周回数完走:									
	39	国本 雄資	TOYOTA RI4A	P.MU/CERUMO・INGING	14	27'59.240	14Laps	14Laps	1'57.824

開始時刻: 15:04'10  
終了時刻: 15:58'47

レース中のベストタイムは No. 8 ロック・デュバル KYGNUS SUNOCO Team LeMans 1'55.869 27/28 180.42km/h

規定周回数 25

計時委員長: Takashi KURIYAMA

競技長: Hiroshi MATSUMOTO

審査委員長: Kazuo HIOKI

栗山隆史

松本 洋

日置和夫